

観察して推理する、自ら行うことによって学ぶ

それがスカウティングだ！

- 各隊自慢の活動報告 -

### 第1回「観天望気」14団カブ隊

6月のテーマは「そらの表情」。梅雨空の観察をして、天気を予想します。

各組に与えられた課題は2つ。見晴らしの良いところで東西南北の雲の種類と動きを観察し、視程(見通し)を測る。昔から言われている観天望気(自然現象や生物の行動の様子などから天気を予想すること)の言葉を実証できるか調べる。この2つを元に隊集会終了時の天気を予想しました。

1組は千里中央公園の展望台へ行き、4方の雲の動きを5分ごとにスケッチしました。



2組は「カエルが鳴くと雨」「ツバメが低く飛ぶと雨」を調べるために箕面・萱野の水田へ行きました。カエルは鳴かず、水田にはオタマジャクシ、カブトエビ、ホウネンエビなどたくさんの生物がいました。

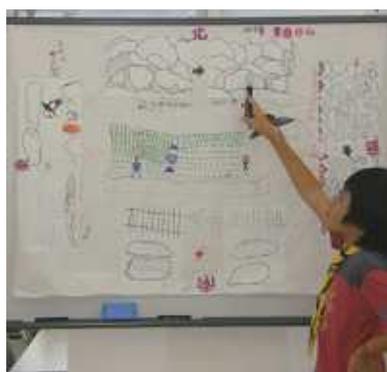


午後、公民館で観察したことを模造紙にまとめ、発表。

1組は5分ごとの雲の動きを描き、事細かに説明。解散時の予想はくもり。



2組は水田を中心に 4 方に雲のスケッチを配置。カブトエビやツバメなど出会った生物も描き楽しい絵。解散時の予想は雨。



観察・発表の結果は1組が優秀組に。ただし、解散時は雨が降りだし、2組が的中。次回集会時に表彰します。